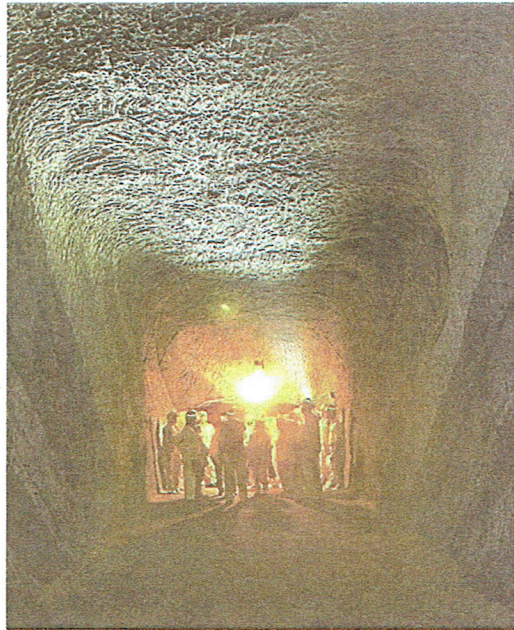


# 館山の地下壕跡 入場最多に

昨年度、3万8248人 団体と県外客が大幅増

館山市の指定史跡「館山海軍航空隊赤山地下壕跡」の入場者数が2017年度、3万8248人により、過去最多を更新した。平和学習の場だけではなく観光拠点としても人気で、団体客と県外客が大幅に増加した。

市によると、赤山地下壕



しほ横様が美しい赤山地下壕跡(館山市提供)

跡は総延長1・6キロ。全国的にも大規模な壕で、一級品の戦争遺産として知られる。大部分は素掘りで、砂岩と泥岩層が織りなす美しいしほ横様の地層が特徴だ。安全が確保されている250坪が04年度から公開されている。

入場者数は公開が始まって以降、年間1万5000人前後で推移していたが、戦後70年を機に記念行事が開かれたり、メディアで紹介されたりして知名度がアップ。15年度に3万人を超え、16年度は3万1550人を記録した。

17年度は団体客が前年度からほぼ倍増し、全体の41%を占めた。県外客も4割増えて全体の71%となり、市は「戦争遺跡が観光資源として見直され、旅行

会社のツアーに組み込まれたことが大きいようだ」としている。今後、ガイドマップや説明用看板の内容を充実させていく考えだ。

入場料は一般200円で、NPOによる有料のガイドもある。問い合わせは市豊津ホール(0470・24・1911)。